

# へき地・離島・小規模校 教育推進フォーラム

7/23 (日)

13:00～17:00

北海道教育大学事務局3階  
第1・2会議室

参加無料

(兼第22回北海道教育大学へき地・小規模校教育推進フォーラム)

後援 文部科学省、北海道教育委員会、長崎県教育委員会、鹿児島県教育委員会、  
沖縄県教育委員会、全国町村会、北海道町村会、全国へき地教育研究連盟、  
北海道へき地・複式地教育研究連盟

## 趣 旨

本フォーラムでは、基調講演及び事例報告を通して、学校統廃合が困難なへき地・離島の学校で行われている個別最適で協働的な教育、自立的なガイド学習、ふるさと創生教育、遠隔合同授業等の新しい教育活動から「令和の日本型学校教育」の先進的可能性を捉えるとともに、これを発展させる教員養成教育の未来を考えます。

## プログラム

- I 開 会 13:00～ 開会挨拶 蛇穴 治夫（北海道教育大学学長）
- II 基調講演 13:10～  
「人口減少社会における学校教育のあり方と地方の教員養成教育への期待」  
講師 安彦 広斉 氏（文部科学省大臣官房審議官（初等中等教育担当））
- III 四大学連携フォーラム 14:30～  
「全国的過疎化の中でへき地・離島教育が令和の日本型学校教育に提起するもの  
－地方の極小規模校教育・教師教育から日本の最先端の可能性が見える－」
  - ①「長崎県の離島・極小規模校教育の強みを担う  
教員養成・採用を目指した教育学部・附属学校・県教育委員会の協働」  
長崎大学教育学部長 藤本 登
  - ②「鹿児島県のへき地・離島・極小規模校教育の取組を踏まえて  
鹿児島大学教育学部が推進する教員養成・研修」  
鹿児島大学教育学部長 有倉 巳幸
  - ③「沖縄のへき地・離島教育の現在地－渡嘉敷島と石垣島の小規模校の事例から－」  
琉球大学教育学部長 萩野 敦子
  - ④「北海道教育大学・北海道のへき地教育の取組と教師教育の可能性  
－令和の日本型学校教育の構築に向けて」  
北海道教育大学学長 蛇穴 治夫
- 〔コメンテーター〕 安彦 広斉 氏（文部科学省大臣官房審議官（初等中等教育担当））  
〔司会〕 玉井 康之 （北海道教育大学副学長）
- IV 閉会 17:00 閉会挨拶 田口 哲（北海道教育札幌校キャンパス長）

事前申し込みが必要です。（申し込み期限は、令和5年7月18日（火））

下記のHP申し込みフォーム又はQRコードからお申込みください。

申し込みされた方には、フォーラム当日までにミーティング情報等をお送りします。

<https://www.hokkyodai.ac.jp/mail/47.html>

お申込み  
方法

お問合せ

北海道教育大学教育研究支援部連携推進課

✉ [crc@j.hokkyodai.ac.jp](mailto:crc@j.hokkyodai.ac.jp) ☎ 011-778-0942

